平成２９年度　後期臨床研修プログラム

診療科：産婦人科専門医コース

１．研修指導責任者兼プログラム責任者（診療科代表）

・役職　　産婦人科部長　　氏名：髙橋慎治

・略歴

2001年信州大学医学部医学科卒業

東京医科歯科大学周産女性診療科入局

取手協同病院、旭中央病院、亀田総合病院勤務

2012年～みなと赤十字病院勤務

２．指導体制

指導項目（内容・分野）	指導医氏名	取得資格
周産期	池谷美樹	

３．専門医取得の目安

四年次に産婦人科専門医取得予定。

４．カリキュラム

周産期、婦人科腫瘍、生殖医療、内分泌学、婦人泌尿器科学等の産婦人科の全ての領域を研修する。分娩、良性腫瘍手術、悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術、膣式手術等の技術を習得する。

① 診療科（研修）の特徴

他病院に比べて医師一人あたりの症例数が多く、分娩・手術共に多くの件数を経験出来る。また症例の内容もバラエティに富んでおり、広い範囲の研修が可能。

② 一年次：到達目標・正常分娩管理、帝王切開術習得、良性腫瘍手術習得

二年次：到達目標・上記に加えて異常分娩管理、膣式手術習得

三年次：到達目標・上記に加えて腹腔鏡下手術習得、生殖補助医療研修

四年次：到達目標・上記に加えて悪性腫瘍手術習得

③ 研修方略と週間スケジュール

※ 目標を達成するための研修方法（ＯＪＴ、カンファレンス、見学等）について記載

週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
7:30～8:50	産婦人科カンファレンス	モーニングセミナー	手術カンファレンス		モーニングセミナー
午前	手術、分娩	外来	外来	手術、分娩	外来
午後	手術	手術、分娩	手術	手術、分娩	手術、分娩

④研修評価

正常分娩、異常分娩、帝王切開術、良性腫瘍手術、悪性腫瘍手術、腟式手術、腹腔鏡下手術、生殖医療、内分泌医療等をそれぞれ細かく手技、知識の項目を立て、目標の達成を評価する。

⑤研修到達目標

産婦人科専門医の取得、そのための幅広い産婦人科研修

⑥その他

東京医科歯科大学、横浜市立大学、それぞれの関連病院での研修も考慮

５．データ（平成 27 年度）

外来：患者数 80 人/日

入院：患者数 30 人/日　平均在院日数 6 日

表：平成 27 年度疾患別入院患者内訳

疾患１子宮筋腫	80 例		
疾患２悪性腫瘍	35 例		
疾患３卵巣腫瘍	120 例		

処置の件数の表

疾患１分娩	1054 例		
疾患２無痛分娩	172 例		
疾患３院内助産	199 例		

手術の件数の表

疾患１帝王切開術	191 例		
疾患２腹式子宮全摘術	44 例		
疾患３腹腔鏡下手術	70 例		